

ご あ ん ない

平成28年度 総会

●日時・場所／ 5月28日(土)

*記念講演(無料) 午後1時

会場 母校視聴覚室

講師 戸津 圭之介氏 (昭和32年・A科卒)

演題 一天平の巨大プロジェクトー
東大寺大仏の造営

◎在校生の出席を歓迎します。

*総会・懇親会 講演後＝視聴覚室・会議室

●会 費／3,000円 (会費は当日、受付で申し受けます。)

◆ご出席の方は、同封のハガキに必要事項をご記入のうえ、

必ず**5月8日**までに投函をお願いします。



工
づ
げ
い

信 誠
愛 実
規 元
律 気

記念講演講師 戸津圭之介さんプロフィール

昭和13年東京生まれ

昭和32年都立工芸高等学校金属工芸科卒業

昭和36年東京芸術大学美術学部工芸科鑄金卒業

その後、副手・非常勤講師を経て

平成3年同教授

平成18年3月同退任

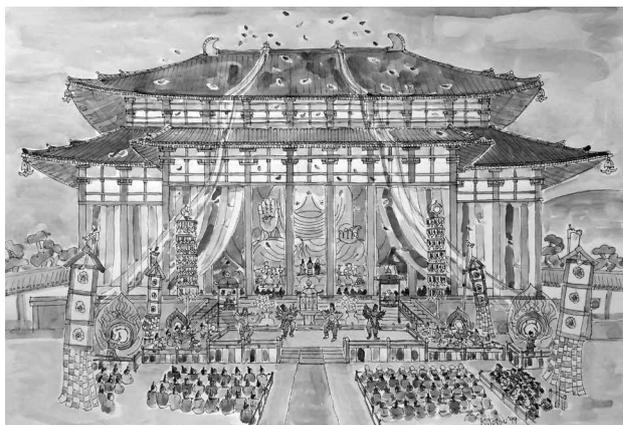
その間、日展、現代工芸展、日本伝統工芸展などに
出品 (平成17年まで)

現在は無所属で鑄金作品を制作し個展「鑄る」で作品を発表。

研究歴として「鑄造文化財の技術的研究」として東大寺大仏、小型金銅仏、薬師寺講堂三尊像、蟹満寺釈迦像、鎌倉高德院阿弥陀像などの調査研究を継続。平成9年「東大寺大仏の研究」(共著)、平成12年「奈良の大仏の研究」、平成15年「東大寺の大仏」の監修とイラストを担当。



創建期の大仏



天平の大仏開眼

<p>滝澤方美 (昭29・D卒)</p> <p>(株)たき工房 (株)日本コマロシヤルフォート (株)フクアップたき (株)インパクトたき (株)タクト (株)プラン (株)たきC1 (株)たきホールディングス</p>	<p>大鳥身吉 (昭29・M卒)</p> <p>(株)シグナム 相談役</p>	<p>下山信一郎 (昭23・M卒)</p> <p>中京工芸会会長</p>	<p>丸山士郎 (昭43・A卒)</p> <p>関西工芸会会長</p>	<p>坂巻章雄 (昭55・A卒)</p> <p>築地工芸会 会長 (有)坂巻工芸社 代表取締役</p>
<p>石原義久 (昭30・P卒)</p> <p>石原エディター事務所</p>	 <p>撮影・神山隆夫 (昭43・A卒)</p>		<p>砂口政範 (昭30・M卒)</p> <p>(有)砂口製作所 代表取締役</p>	<p>茂木益雄 (昭30・P卒)</p> <p>(株)フォレスト 代表取締役 会長</p>
<p>中山清 (昭33・M卒)</p> <p>築地工芸会 理事</p>			<p>駒村武夫 (昭40・D卒)</p> <p>(株)ソフケン 代表取締役</p>	<p>中村輝雄 (昭38・P卒)</p> <p>「水平開きノート」発売元 (有)中村印刷所 代表取締役</p>
<p>荒井拓哉 (昭35・D卒)</p> <p>築地工芸会 理事</p>	<p>梶広幸 (昭44・D卒)</p> <p>築地工芸会 副会長</p>	<p>神山隆夫 (昭43・A卒)</p> <p>築地工芸会 理事</p>	<p>井上正治 (昭42・A卒)</p> <p>(有)東新幸社 代表取締役</p>	<p>五反田稔 (昭35・M卒)</p> <p>中京工芸会 副会長</p>

● 会長就任のご挨拶

新会長 坂巻 章雄



このたび、理事会において同窓会会長に指名され、お引受けすることになりました。何卒よろしくお願いいたします。

さて、工芸高校を巣立った先人たちは、様々な業界、団体等の中で、重要な役割を果たす席で活躍されて居られます。しかしながら年齢を重ねるごとに先人方は、新しい卒業生の方との繋がりが結びつきが薄れてしまったと、先生方から伺いました。同じ業界内で仕事をしても話す機会が無かった人が、あるきっかけで話をしたら、「同じ科の卒業生同士であった。」といった

出来事も経験しています。

皆様もご存じの事と思いますが桜井前会長は、母校の工芸高校のためにご尽力を費やされて参りました。同時に、同窓会（築地工芸会）の活性化を図るために若い理事の掘り起しと活躍に積極的に取り組んで来られました。

私もその後を引き継ぎ、若いOB、取り分け女性会員の参加を呼びかけて同窓会の更なる活性化に取り組んでまいります。

現在同窓会では、名簿の作成事業を計画しています。これを契機に、先人と後進との新たな繋がりが出来れば素

● 退任のご挨拶

前会長 桜井 洋一



細江前会長より、バトンを受けてから任期の2年が経過し、このたび築地工芸会の会長職を退任することとなりました。この2年間を振り返ると、就

任時に掲げた理事の若返りと女性の登用については、各科の理事ならびに先生方のご尽力により、大きく改善することができました。

一方、築地工芸会を支える大切な会費の増収については、コンビニエンスからの振込を可能にしたことで利便性は改善されましたが、まだ満足いくレベルには至っていません。

また、本校の1階にある卒業生の作品展展示ケースをリニューアルして、長年そのままにされていたものを各科6か月のサイクルに変え、昨年4月からD科よりスタートしました。

今後、継続していく活動としては、110周年を迎える来年に17年振りの同窓会名簿の発行を予定しております。この名簿の発行により、さらに多

くの同窓会会員との接点が広がると期待しています。

さらに、工芸高校のホームページに築地工芸会のサイトの運営を開始いたします。このサイトを通して同窓会と在校生の繋がりをさらに深めるとともに、外部の方にも工芸高校の歴史や活動に触れてもらえればと思っております。

あらためて、築地工芸会の活動を支えてくださった事務局の荒井さん、神山さん、理事の皆様、さらに学校長、副校長、各科の先生方、PTAの方々に、この場を借りて御礼申し上げます。

このあとは、私より10歳若い坂巻新会長に託します。さらなる築地工芸会の発展に皆様ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。（昭和43年F科卒）

晴らしいことだと思えます。皆様のご協力をお願い申し上げます。

また、来年二十九年度には、母校工芸高校が百十周年を迎えます。同窓会としても母校の周年行事を積極的に支援し、盛り上げて参りたいと思います。結びに、母校工芸高校と同窓会の更なる発展のために微力ながら貢献していきたいと考えております。

同窓会会員の皆様のご指導・ご支援をよろしく申し上げます。（昭和55年A科卒）

OB 作品展示は

A科からI科へ

母校におけるA科OBの作品展示は3月31日で好評のうちに展示を終了しました。次はI科OB作品の展示になります。



事務局より

◎ 一般寄付・ご芳名

ご芳志をお寄せいただいた方々に、お礼を申し上げます。なお、前号に掲載すべき一部の方のご芳名が、今号の掲載になってしまったことをお詫び申し上げます。(順不同・敬称略)

大西光、上床亦、石島楓、井上正治、時田桂代、五反田稔、宮森隆志、東松国雄、竹内孝太郎、金親二郎、藤井喜代子、松本七五三吉、砂口政範、真野隆夫、天川博邦、中代源次郎、山田一彦、岡田里美、高井英一、内山孝、中村輝雄、川森南帆、大林眞理子、高島順、筒井健郎、深野俊樹、野本能義、成田真一郎、

長澤政治、時田桂代、今野健三、丸山士郎、橋正春、小川衛、田代智隆、岡田遼、小野塚均、田代雄、林正二郎、山岸政彦、日置雄毅、藤田進
平成27年度累計
三八一、三〇〇円

◆ 役員の改選について

平成28年度の当番科はI科からA科となります。(任期2年)。

平成28・29年度役員(敬称略)

会長 坂巻章雄 (A科・昭55)
副会長 磯野 祥 (A科・平1)
細江邦雄 (M科・昭41)
岡田里美 (I科・平1)
石原義久 (G科・昭30)

理事 梶 広幸 (D科・昭44)

A (アートクラフト科)

大沼正道 (昭33)、杉本 勉 (昭36)
井上正治 (昭42)、神山隆夫 (昭43)
堀越敏晴 (昭43)、大沼千尋 (昭45)
高木 実 (昭48)、石井正美 (昭54)
高木家守子 (昭54)、松本 礼 (平2)
大島里鶴 (平11)、藤澤幸子 (平11)
佐藤充俊 (平17)、大川祥代 (平23)
染谷実紅 (平23)

M (マシニングラフト科)

青柳 宏 (昭23)、大島身吉 (昭29)
中田 実 (昭29)、落合 忠 (昭33)
中山 清 (昭33)、松井辰弘 (昭34)
神戸道夫 (昭36)、脇嶋邦雄 (昭36)
飯田直弘 (昭49)、佐藤浩久 (昭56)

I (インテリア科)

中丸 啓 (昭30)、森谷延周 (昭32)
工藤精一 (昭36)、関 公宇 (昭39)
桜井洋一 (昭43)、池田成孝 (昭60)
伊東久江 (昭60)、佐藤貴志 (平1)
坪井 裕 (平2)、宮田潤一 (平2)
久保田晃 (平5)、久保田真奈美 (平5)
高垣嘉織 (平19)

G (グラフィックアート科)

茂木益雄 (昭30)、中村輝雄 (昭38)
篠崎忠志 (昭46)、大澤正則 (昭59)
井出賢一 (昭61)、久保木秋徳 (昭63)
岡崎晴重 (平2)、杉野文彦 (平2)
渡辺富一 (平5)、福田善志 (平13)
富成世梨 (平19)

D (デザイン科)

安藤良子 (昭34)、荒井拓哉 (昭35)
岩井昌代 (昭39)、清水和男 (昭40)
中山れいこ (昭41)、福田哲夫 (昭42)
清水一忠 (昭47)、佐藤秀男 (昭51)
長江豊美 (昭54)、半田 悟 (昭54)
久世佳史 (昭62)

地方支部

下山田信一郎 (昭23M) 中京支部
丸山士郎 (昭43A) 関西支部

監事

関公宇 (昭39I)・細江邦雄 (昭41M)

瀧上三元校長先生ご逝去

瀧上文雄先生におかれましては、さる2月11日、出張先でご逝去されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

支部だより

●築地工芸会支部 中京工芸会便り

中京工芸会は愛知・三重・岐阜に在住の工芸卒業生の集いで、築地工芸会の支部として昭和38年に設立しました。既に50数年の歴史があります。設立当時は日本の産業は中京からということも有り、当地への転職・転勤等で60余名の方が会員に登録されました。しかし、昨今は26名の会員数となり半数以下となりましたが、その間、毎年欠かすことなく会員相互の親睦を目的として「中京工芸会総会」を開催してきました。一杯飲みながら、食べながら同じ学び舎時代のことを共通話題として談笑を重ねてきました。

現在は毎年10月の第3日曜日を「中京工芸会の日」とし、場所も名古屋市の料亭「大森」で開催することを決めました。又毎年2月の「節分の日」に

は、総会会場の大森の「女将」「若女将」が古来の美人に化身することを機に、「中京工芸会節分会の日」としました。役員会を兼ねて、次の総会を企画・確認する場としています。

今年の第3日曜日、10月18日(日)の第52回総会は、築地工芸会の桜井会長さんも遠路お越し下さいました。そして新しい仲間として野村(旧姓西川)敬子さん(H11年A科卒)が初出席してくれました。久しぶりの女性新人ということでも皆さん喜んで頂きました。更に前会長の細江邦雄さん、特別会員の岩崎龍二さんも東京・横浜からお越し下さいました。正に老若男女が揃っての楽しいひと時でした。2次会もカラオケで時間の過ぎるのを忘れ、歌いまくりました。

今年の2月3日(水)は節分会で、10月の総会について以下のことを決めました。

52回中京工芸会総会



2月3日 恒例の節分会



日時・2016年10月16日(日)12時
場所…料亭「大森」です
が4月に移動するので、移動先を下見してから正式決定します。会員の方には9月上旬には案

内状をお送りします。又今年からは、細江前会長さんからのご提案も有り、関西工芸会との交流を図りたく、双方の代表がお互いの総会に出席したいと思います。

今後とも築地工芸会、関西工芸会の御支援を頂き、会員の皆様のご協力を頂き、何時までも和気藹々と中京工芸会を継続したく思います。

中京工芸会副会長
五反田 稔(昭35・M卒)

●平成27年度 関西工芸会の集い

昨年の11月3日に第55回目となる関西工芸会の集いを、京都嵐山の料亭《らんざん》にて開催致しました。

東京からは91歳になられた元金属工芸科教師の安原先生が当日新幹線を使って勇んで来てくださり、御一緒に築地工芸会より桜井会長、神山先生、金属工芸科卒の曾我部さんが入浴して12名で元気に始まりました！

秋晴れの京都・嵐山にて



関西工芸会レギュラー出席者の最年高90歳の今井さんを上回る安原先生の参加



抹茶をいただく

に会は大いに盛り上がり、また嬉しいことに初めて参加して下さる女性が来て下さるなど笑顔に満ちた集いでした。

食後は料亭の隣にある宝蔵院を拝観して、抹茶を頂く中、安原先生の工芸応援歌を歌う美声

が嵐山に鳴り響きました。今年の開催は11月5日(土)です。是非お気軽に御参加下さい！

関西工芸会事務局
松田 健(平成13A卒)

I.F.パートナーズ特許事務所

弁理士 中山 清
(昭33年M科)

〒101-0064
東京都千代田区猿楽町2-8-16
平田ビル8階

電話 03-5577-3025
FAX 03-5577-3027
Email nakayama@ifpat.gr.jp

第62回 日本伝統工芸展で 朝日新聞社賞を受賞した

水口 咲さん

(平成5・D卒)

平成5年D科卒業の水口咲さんは、第62回日本伝統工芸展に於いて「朝日新聞社賞」を受賞しました。

水口さんに工芸時代の想い出、輪島での修行、「器づくり」に対する思いを語っていただきました。



朝日新聞社賞受賞作品 乾漆線文合子



デザイン科在学中は立体より平面、そして色の使い方に強く興味があったことを覚えています。カラフルなイラストをたくさん描いていました。工芸高校での3年間はデザイン科の授業が楽しくて、楽しくて、また水道橋から都内どこへでも行きやすいので3年間で大きく世界は広がりました。

輪島へ

卒業して6年の間、いくつかの仕事を体験したことで「日本の手仕事が好き」という思いに辿り着きました。そして石川県立輪島漆芸技術研修所に行くこととなるのですが、今振り返れば思いきった決断でした。ところが北陸の風土にも食にも不思議と自然に馴染むことができました。

研修所で最初に教わったのは刃物を研ぐことでした。それと、塗師刀という小刀のサヤを作ることから始まりました。使う道具から自分で作らなければいけないことに驚きと喜びを感じました。

最初の1年目は、塗りと蒔絵、沈金などの加飾技法と基本を体験するのですが、この時はまだ加飾にも興味がありませんでした。2年目以降は塗りが加飾か選択しなければならず、悩んだ末に塗りを選択しました。柄や模様が気に入っていても、形が良くないと結局着ない。肌触りと着心地がよくて、見た目のシルエットもかっこいいとお気に入りになる、洋服でいえば「パターン」

が大事なんだと気づいたからでした。この頃はよく洋服に例えて、漆器のことを考えていました。



漆の艶がいきるように

漆芸研修所で乾漆技法に出会いました。増村益城氏の美しくふくよかな朱の作品をみて、こんな世界があったのかと高揚しました。乾漆技法で作品をつくることは造形力の鍛錬になると教えられました。デッサンをすることから始まり原型を油粘土でつくるとき、長い時間、形と対峙します。そのときはうまくいかなくても、その時間は積み重ねられ身になり、良いと思う形を生み出せるように、大事な時間です。

そうしてできた形に麻布を重ね、下地と塗りを重ね、研ぎ、最後の上塗りをして完成した形は漆の艶がいきるように。今回の受賞作品を通して気づいたと思います。

師匠の存在

漆芸研修所を卒業したあと、研修所の講師でもあった小森邦衛氏に弟子入りをしました。昼間は師の工房で手を動かす、塗りの技術を習得させていた

できました。そして夜は自宅で乾漆作品の制作を手がけました。公募展の作品制作は、何をつくれればいいのか、難しく悩むことの多い世界でした。何もかもにもがいていた弟子時代は、振り返っても恥ずかしさしかありません。思いに技術が追いつかない私は師匠の的確な批評に導かれて作品を仕上げる事ができました。私にとって身分不相応だったかもしれない漆芸の世界に居続けられたことには師匠の存在があります。



ふだん使いの器

年季明け、独立をして汁椀などふだん使いの器を自分でもつくり始めました。私の思いのひとつに「日本の食事の器」をつくりたい、ということがあります。手に取って直接口をつけていただく日本食の作法は漆器あってこそものだと思います。

多様化している日本の食ですが、肝心な日本食のおいしさが忘れられてい



小菓子盆



乾漆銘々盆 すずなり

るのでは、と感ずることがよくあります。SNSやブログで、よそのご家庭の普段の食卓を見かけると「隣の晩ごはん」に漆器どころかお味噌汁の無いことに気づくのです。出汁と味噌と具材と吸い口のバランスが合ったとき、これほどおいしい料理はないのではなにかと思います。ほんものの漆器でお味噌汁をいただく日本の食卓がもっともっと増えることが願いです。

ふだん使いの器となると、手になじんで、食べているときは忘れてしまうぐらいが良いのではないかと思っています。使い易さやその機能を追求すると自ずと美しい形になる、ということがいわれます。乾漆作品での造形と、ふだん使いの器、その両方の世界を行き来して、美しい漆の塗り肌を生み出していったら、と思っております。

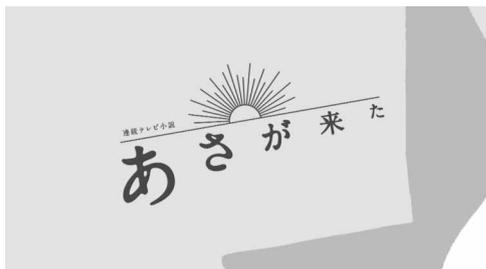
2016年 第62回日本伝統工芸展
朝日新聞社賞受賞
個展 水口咲 漆展
(石川金沢・高木桃商店)
水口咲ホームページ：
<http://sakimizuguchi.com/>

2002年 第19回日本伝統漆芸展 初入選
2003年 第44回石川の伝統工芸展 初入選
2004年 石川県立輪島漆芸技術研修所 髹漆科卒業 小森邦衛氏に師事
2005年 第52回日本伝統工芸展 初入選
2008年 年季明け・独立
2010年 初個展 水口咲の漆展 (東京茗荷谷・スペースたかもり)
うるし・おわん・うつわ展 (西武池袋本店) (初回より毎年参加)

● 校友の活躍

副田高行さん(昭和43・D卒)が NHKの朝ドラ「あさが来た」のタイトル制作

NHKの朝の連続ドラマ「あさが来た」を見ましたか? 毎朝8時、AKB48の軽快な主題歌をバックに、今までにない生き生きとしたタイトル画面でドラマが始まり、思わずドラマに引き込まれていきます。このタイトルの、我が工芸同窓生・D科卒の、副田高行さんが制作しました。



プラスチック 真空成形型 圧空成形型
金型製作 プレス抜型 トムソン抜型

企画デザイン — 試作 — 本型製作 — 成形立上げ

V.MOLD バキュームモールド工業株式会社

本社・〒131-0031東京都墨田区墨田5-23-11
tel 03(3614)1556 fax 03(3614)1559
埼玉工場・〒340-0831埼玉県八潮市南後谷107-5
tel 048(932)5440 fax 048(932)3960

-詳しくはホームページで-
<http://www.vmold.co.jp/>
e-mail
caduser@vmold.co.jp



優勝作品と福山さん

福山優香さん(平成24・A卒)
第53回技能五輪全国大会
貴金属装身具職種で優勝(第1位)

● 校友の活躍

◎ 個展

人間国宝 須田賢司

木工藝展―「清雅」を標に―

(昭和48・F卒)

日本橋三越本店 本館6F美術特選画廊

重要無形文化財

「木工藝」

保持者に認定された後、初めての個展で、小

筆筒、テーブルなど素晴らしい作品が

一挙に展示された。同時に須田賢司

さんのお父さん(桑翠さん)、お祖父さん

(桑翠さん)の作品も展示されました。

またこれを機会に「木工藝―清雅を標に―」と題した書籍を上梓されまし

た。

またこれを機会に「木工藝―清雅を標に―」と題した書籍を上梓されまし

た。

またこれを機会に「木工藝―清雅を標に―」と題した書籍を上梓されまし

た。

またこれを機会に「木工藝―清雅を標に―」と題した書籍を上梓されまし

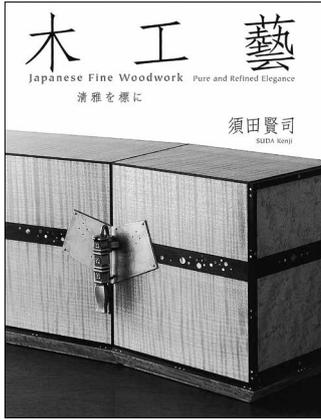
た。

またこれを機会に「木工藝―清雅を標に―」と題した書籍を上梓されまし

た。



作品の前で、須田賢司氏



木工藝―清雅を標に―

「オリジン 見えないものの形」
橋場信夫 作品展

ティール・

ナ・ノীগ

ギャラリー



◎ 出品

第62回日本伝統工芸展

日本橋三越本店 本館・新館7階ギ

ャラリー

・ 染織

松原 伸生氏 (昭和59・D卒)

長板中形着尺「竹揺文」

・ 漆芸

水口 咲氏 (平成5・D卒)

朝日新聞社賞

乾漆線文合子

・ 金工

田口 壽恒氏 (昭和34・A卒)

人間国宝

鍛籠銀花器

桂 盛仁氏 (昭和39・A卒)

人間国宝

赤い実 帯留金具

大沼 千尋氏 (昭和45・A卒)

接合せ花器

・ 木竹工

林 哲三氏 (昭和37・F卒)

黒柿赤漆鱗格子文彫箱

須田 賢司氏 (昭和48・F卒)

人間国宝

栃拭漆嵌装箱「月映え」

第56回東日本伝統工芸展

日本橋三越本店 新館7階ギャラリー

・ 染織

松原 伸生氏 (昭和59・D卒)

長板中形着尺「蘭草文」

・ 金工

大沼 千尋氏 (昭和45・A卒)

接合せ花器

・ 木竹工

須田 賢司氏 (昭和48・F卒)

人間国宝

紅梅造嵌装箱

10人のグラフィックデザイナーによる

日本酒ポスター展

松屋銀座7階・デザインギャラリー

昭和51・D卒 永井裕明さんが出

展しました。



写真右から2人目が永井裕明さん

TAKI GROUP

広告制作会社
たきグループ

グループ創業者
滝澤方美
D3(昭29)

株式会社たき工房
〒104-0045 東京都中央区築地5-3-3 築地浜離宮ビル14F TEL:03-3524-1351(代) URL:http://www.taki.co.jp

(株)たき工房
(株)たきホールディングス
(株)日本コマースナルフォト
(株)ブラン
(株)ワークアップたき
(株)インパクトたき
(株)たきC1
(株)タクト

iC用各種タイバーカッター
各種専用機 設計製作

(有)神戸自動機製作所

代表取締役 神戸 道夫
定M13(昭36)

〒270-0156 千葉県流山市西平井1031-7
TEL.0471-59-6201 FAX.0471-59-5127

● クラス会

● 辰巳会 (昭和23年第二本科卒)

第30回辰巳会を昨年9月11日(金)に、なじみの「がんこ上野本店」で開催しました。

本席では、青柳君が米寿を迎えたので更なる長寿を祈願して祝杯をあげました。

高浜君には、第1回開催より、長年にわたり辰巳会の歩みを記録保存に尽力された事に感謝の意を表しました。今回は少人数でしたが旧交を温め楽しいひと時を満悦し散会しました。

辰巳会はこれからも歩み続けます。第31回開催は本年9月9日(金)です。壮健にて参加されん事を願っております。(田代智隆)



辰巳会 (昭和23年第二本科卒)

● 昭和32年M科卒「同期会」

昨年引き続き2回目を迎えました。銀座本通りに面する「銀座ライオン」にて10月30日1時開催。いろいろ互いの会話が進行する中、在学中柔道部で活躍していた片岡・根岸氏から東京都大会優勝(団体戦)時の一進一退の熱戦、最後の大将戦(根岸)を勝利し優勝したとの秘話が語られ一同大いなるパワーを戴きました。短時間の面談でしたが、在学時の思い出、最近の生活環境等大いに笑い、語りました。次回の再会を約し夕方の銀座を後にしました。(土井常陸)

● 「えふ13会」クラス会

標記の会名は定時制木材工芸科13回卒業生のクラス会の名称。現在はインテリア科というらしいが、その当時は



昭和32年M科卒「同期会」



「えふ13会」クラス会

木材工芸科といい、フアニチャーの頭文字をとって「F科」といいました。11月20日、北千住駅隣の駅ビルにあるチェンズダイニングという中華料理店が会場。

54年前、古びた水道橋校舎を卒業したときは30名でした。その後6名の級友が鬼籍に入り、6名が連絡先不明で残り18名のうち、14名がこの日のクラス会に出席しました。全員が73〜75歳となり、年金生活となった人、現役で仕事を続けている人、様々な生き様の中で話は健康のこと、家族や孫のこと、生活のことなど、話は尽きませんでしたが、昔のクラスに戻ったかのように若さがあふれ出ていました。

減ることはあっても増えることのないのがクラス会の宿命、そして寄る年



「さんでえ」会 昭和34年D科卒

波に2年毎に再会することを誓い、散会しました。(村奈嘉義雄)

● 「さんでえ」会 (昭和34年D科卒)

D科に入学して3年になればどの期も3Dですが私達は卒業前「さんでえ」という記念誌を作りました。

そのまます会は「さんでえ」会です。

2年生の時、創立50周年記念行事に巡り合った私達は花の17歳ですから、50年なんてとてつもない年数に思えました。なのに光陰矢の如く、67歳で100周年にも遭遇することに。さらに8年が過ぎた昨年、75歳を期して晩秋の上野動物園に18名が集合。いまだ現役、自営もいる中、趣味に地域ボランティアに活躍の面々です。生え際が上がり白髪になると不思議なことに皆似てくる……細身だったT氏を丸顔のM氏と間違えたのも二、三人にとどまらず大笑いでした。

思い出になってしまった友もいるけれど77歳になる再来年は、工芸110周年が重なる、これは何としても「喜寿さんでえ」会をや

るっきゃない！先に目標があるのは素晴らしいです。みんな頑張っ

てまた会おうね。と師走間近な街を後にしました。

(桜井)

クラス会

●昭和37年全日制M科卒クラス会

平成27年11月1日、2日「ニコン山中ロτζジ」においてクラス会を開催しました。前回は平成26年10月に銀座「サンミ高松」で開きましたがその時「二泊旅行」で、と言う話が出たので、今回計画しました。8月頃より計画し、11月の開催としました。40数名と連絡が取れましたが出席者は6名で欠席の理由として「一泊は無理」とか「病院通いで」という返事が何通か有り、もうそんな年になってしまったのかと思えました。参加者が少なくて残念でした。ニコンOBの鶴岡君にお願いし予約して貰い、昔話に花を咲かせ6名と少ない人数でしたが話が盛り上がり楽しい時間を過ごしました。2日目の帰りは沼津魚市場直営の食堂で美味しい海鮮料理を満喫し、皆と現地で解散、楽しい2日間でした。(南澤英雄)



昭和37年全日制M科卒 クラス会



「工芸祭と交歓会」



塩原巖先生 祝！米寿クラス会



東芝万年会平成27年度総会

は、前日の大雨がうその様な晴天にめぐまれ昼に東京駅に集合し東海道線の車中から大変盛り上がった旅行になりました。熱海では、温泉に浸かり先生を囲み参加した13名で昔話に花

●「工芸祭と交歓会」

昭和45年全日制M科卒

菊晴れの青空に恵まれた10月31日(土)工芸祭の見学会と交歓会を開催、一年ぶりに皆と再会しました。工芸祭には旧校舍以来久しぶりに訪れた人、9階建ての校舎を見学するのに一苦勞でゆつくり教室内を回る時間のとれなかつた人も居ましたが、それぞれが昔を思い出しながら、懐かしく楽しいひと時を過ごしました。

その後夕方から工芸高校正門脇の喫茶店に集合して本日の宴会場「膳菜や水道橋店」に向かいました。平成24年から数えて4回目のクラス会開催で、今回初参加の3名を含め総勢18名の旧友と再会出来ました。卒業以来45年振りに今夜も不思議な少年・少女になり時空を超えて工芸生に戻ってしまいました。皆で陽気な交歓会にしようと言うことで、「元氣、楽しく、嬉しく、健康で」のひと時でした。来年から前期高齢者の仲間入りをする64歳これではないのでしょうか？

引き続き全員の近況報告が有り会社を無事卒業している方々や、完全年金生活をされている方々、まだまだ70歳まで現役で頑張っているとうとう日頃の筋トレやフィットネスクラブ等に通われている人達も多くいて、頼もしい限りでした。

修学旅行のスナップ写真を見ながら皆と話をしているうちに、懐かしい「工芸時代」を鮮明に思い出させてくれました。来年は改めて、M1・M2合同クラス会を企画し、更に多くの旧友と再会出来る事を楽しみにしています。遠藤恵樹 岡嶋弘和 笠井剛(M1) 歌川久雄 中村高久 佐藤守克(M2)

●昭和46年全日制M1科卒

「塩原巖先生 祝！米寿クラス会」

今年米寿を迎えられました、恩師塩原巖先生のお祝いを、第19回目となります。クラス会を兼ねて、熱海「ホテル大野屋」にて一泊旅行で開催いたしました。

当日(9月11日(金))

を咲かせました。

夜の祝宴では、塩原先生より「還暦」や「米寿」の慶事の謂れや意味のご講義を戴き、あまりにお元氣な恩師の姿に皆、感激致しました。

今年63歳になります私達も定年後の近況や今後の予定等で話が盛り上がり大いに旧交を温め、親睦を深める事ができました。

2年後は先生の『祝！米寿 クラス会』を開催しようと思つて約束をし、次回の再会を楽しみに解散いたしました。(松下治正)

●東芝万年会 平成27年度総会開催

平成27年11月14日(土)に両国駅前店「ちゃんこ巴湯」にて東芝万年会の総会を開催致しました。

今回は11名のご参加をいただきました。当日は日本の相撲の拠点の一つである両国駅に集合し、東京の歴史をさかのぼる江戸を知る「大江戸博物館」を見学しました。

総会は会長の室谷さんの乾杯の音頭でスタートしました。今回は会長のご長女も特別参加され、にぎやかに、華やかな場となりました。ちゃんこの味に舌鼓を打ち、うまい酒で顔をあからめつつ、それぞれの近況、健康状態やトピックス等の紹介で盛り上がりました。毎年顔を合わせて談笑できる喜びを実感しながらの総会となりました。

最後に来年もまた、元氣に再会することを約束してそれぞれ帰途につきました。(D科38年卒 松本孝)

母校だより1

コンクール等の入賞者・成績

全日制

ART CRAFT

●全国ジュエリー・アクセサリーデザ

イン画コンテスト2015

ウエダジュエラー賞

3年 石澤真奈

高校生デザイン画賞

3年 秋本風香、稲垣美音、星野玲

MACHINE CRAFT

●全国製図コンクール

優秀賞 2年 貝原海帆、滝沢佳奈

平林智子

佳作 2年 白子愛梨、根岸優果

安仲紀乃

●ジュニアマイスターゴールド

3年 赤木智子、佐藤啓龍

関口優斗、野村玄

●ジュニアマイスターシルバー

2年 小林雅人、滝沢佳奈

平林智子

INTERIOR

●第6回建築系高校生コンテスト

優秀賞 3年 村山恵実子

佳作 3年 宇野澤歩

奨励賞 3年 大島万奈

●第9回建築系高校生対象コンペティ

ション

奨励賞 3年 加藤ゆかり

●第10回若年者ものづくり競技大会

(木材加工)

敢闘賞 3年 高木健太郎

●第9回ものデザインコンテスト

クラブ部門 優秀賞

2年 安原茜、渡邊悠加

古岡ひなの

インテリアデザイン部門

優秀賞 2年 山本美佳

奨励賞 2年 久保田慎

●建設系高校生作品コンペティション

2015

審査員特別賞(模型部門)

3年 伊藤大地

審査員特別賞(家具部門)

3年 細谷広夢

CC-1東京特別賞(家具部門)

3年 實方滉幸

CC-1東京特別賞(実習部門)

3年 宇野澤歩、片岡知大

篠崎美月、清水季里

高木健太郎、竹内亮太

手塚遙乃、中島聡花

矢野奏枝、吉野蒼央

優秀賞(製図部門)

3年 本橋果林

GRAPHIC ARTS

●平成27年版科学技術白書表紙絵・デ

ザインコンクール

佳作 3年 鶴野寿麻

●高校生夕張キャン第I期選抜大会

広報・PR部門 研究開発部門

優秀賞 2年 坂口瑠花、高木理奈

奈良柚月、後藤夕弥

野田彩夏、田近実理

高侑那、松田実希

●全国地域安全運動ポスター

振り込め詐欺防止の部

最優秀賞 3年 石黒真衣

●第19回全国きものデザインコンクール

日本放送協会会長賞

3年 畠山秋音

日本きもの学会賞 3年 金素希

金賞 3年 石黒真衣

銀賞 3年 河井楓

●Asiagraph Reallusion Award 2015

Lien Cheng Outstanding Works

3年 河野麻矢

●第11回IPA「ひろげよう情報モテ

ル・セキュリティコンクール」

地域賞 3年 三次麻衣

優秀賞 3年 金素希

●第8回未成年者喫煙防止ポスター

最優秀賞 2年 鈴木力

優秀賞 3年 鶴野寿麻

●第28回道のある風景写真コンクール

努力賞 3年 石田理愛

2年 岩切佑希

銅賞 3年 徳井愛子、金素希

●2015 POPPコンテスト

優秀賞 3年 塩野入友理

奨励賞 3年 加賀美歩実

●少年の非行防止啓発ポスターコンクール

最優秀賞 3年 三次麻衣

優秀賞 3年 河野麻矢

●平成27年度8020運動ポスターコ

ンクール

入選 3年 河野麻矢

●第43回東京モーターサイクルショー

学生ポスターデザインアワード

優秀作品 3年 塚原茉穂

米山一樹

訃報

前回の会報165号以後、本会宛正式にご連絡がありました方々は、次の皆様です。ご冥福をお祈り申しあげます。()内は逝去された日です。

瀧上文雄先生 元学校長 (28・2・11)

井上淑子先生 元A科教員 (28・3・16)

石川 省吾氏 昭12・P卒 (27・11・16)

守山 敏光氏 昭13・M卒 (27・5・9)

新田 和臣氏 昭15・P卒 (25・6・6)

沼尾 博氏 昭16・P卒 (27・6・21)

吉澤 務氏 昭17・M卒 (27・8)

増淵 正三氏 昭17・F卒 (27・7)

庭屋 健二氏 昭20・M卒 (24・11)

澤田 善彦氏 昭23・A卒 (26・7・23)

中村 幸生氏 昭26・M卒 (27・3・18)

古川 勝巳氏 昭28・M卒 (27・2・26)

安藤 昌二氏 昭29・F卒 (27・7・3)

小井戸信雄氏 昭29・D卒 (27・12・1)

飛田 栄一氏 昭30・M卒 (27・5)

若松 盛正氏 昭32・M卒 (26)

近藤 勝彦氏 昭32・F卒 (28・1・19)

松崎 誠二氏 昭33・M卒 (27・6・6)

小堀 弘氏 昭33・F卒 (27・11・1)

稲垣 宏信氏 昭36・F卒

山岸陸太郎氏 昭37・A卒 (24・11)

鳴村 静子氏 昭44・A卒 (27・9)

小島美保子氏 平18・G卒 (20)

●第10回スチール缶リサイクルポスタ

ーコンクール

最優秀賞 2年 野田彩夏

佳作 2年 春日若葉

●コンペ部 ロゴマークデザイン

入選 3年 石田望実

銅賞 3年 米山一樹

母校だより2

●第6回 大分ユーモアまんが大賞
優秀作品 3年 沼畑歩美
●第34回川の写真コンクール
銅賞 3年 深谷あゆみ

2年 折久木佑奈、高侑那
1年 島崎美侑
佳作 1年 平田琴

●未成年者飲酒防止ポスター
佳作 3年 河井楓
2年 行方里奈子

DESIGN

●(冊子)都立高校に入学を希望する皆さんへ
表紙原画採用 3年 中村天衣
挿絵採用
3年 岩井香寿奈、山野実桜
2年 中村陽道、根本佳奈子
平林麻衣

●平成27年度学校要覧
表紙原画作成 3年 瓜生夏美

●文京区社会を明るくする大会
ポスター、チラシ原画採用
2年 平林麻衣
パンフレット表紙原画採用
2年 伴聖菜

●わくわくどきどき夏休み工作スタジオ
リーフレット表紙原画作成
3年 富坂圭、碓井里緒

●版画フォーラム2015和紙の里ひがしちちぶ展
東秩父郵便局長賞 3年 和田幸恵
●拓殖大学工学部ORANGE CUP
2015アイデアのタネコンテスト
入選 3年 南蘭紗代子

●文京区冊子「情報」表紙原画採用

1年 佐藤日向子
挿絵採用

1年 稲田 俊太郎、小池幸穂
松田莉奈
2年 伴聖菜、平林麻衣
松本みらい

●文京シビックオペラ「ロメオとジュリエット」
チラシイラスト採用 3年 木田光

●かわさき産業デザインコンペ2015
入賞 2年 松井友美
奨励賞 2年 田中杏以梨

●翔々専門高校生徒体験発表文・作文・研究文集
表紙原画採用 2年 廣川萌郁

●目白大学短期大学部スイーツアイデアコンテスト
優秀賞 2年 大山恵理佳
準優秀賞 2年 伴聖菜

●明るい選挙啓発ポスターコンクール
中央審査入選・東京都入選
1年 松枝暦
文京区優秀賞 9名
文京区入選・佳作 11名

*紙面の制約から、検定合格者の氏名、部活動報告は割愛させていただきます。

母校人事

平成28年度を迎え、3月31日、4月1日付で次の人事異動がありました。退職、転任された先生方には後輩のご指導を頂き、本当に有難うございました。
就任された先生方、後輩のご指導と、同窓会をよろしくお願い致します。

○退職(敬称略・順不同)

杉野 文彦 G科・全(退職)
青柳 俊政 I科・全(退職)
須佐 眞一 全(退職)
足立 徹 I科・定(退職)

○転任(敬称略・順不同)

高木 佳澄 国語・全(飛鳥・全)
宮原 由実 国語・全
田中 宏昌 数学・全(足立東・全)
佐々木孝子 保健体育・全(退職後再任用 工芸・全)
鈴木 頼彦 M科・全(退職後再任用 工芸・全)
三好 玄也 M科・全(世田谷泉)

○就任(敬称略・順不同)
鈴木 照夫 国語・全(小平南・全)
紫竹 悠子 国語・全(王子総合・全)
大島 智朋 数学・全(六本木・定)
仲三河 諒 工業(工芸)・全(新規採用)
森本えりか 工業・全(練馬高・全)
竹野 秀治 工業・全(蔵前工業・定)
清水 宏明 国語・定(一橋・定)
関戸 亮 工業(建築)・定(葛西工業・全)
田中 芳貴 産業・定(橘・全)

2015工芸祭

2015年の工芸祭は、10月31日(土)、11月1日(日)に開催されました。来場者数は2日間合わせて、6208名でした。毎年のことながら、大盛況の2日間でした。どれもデザイン性や利便性だけでなく、ユーモアやセンスがきらりと光る作品ばかりでした。たくさんの方々には工芸の魅力が伝わ

る一番のイベント、工芸祭。今年も保護者、中学生、卒業生、地域の方などを中心にたくさんの方々から来られていた中で、特に目を引いたのは、こどもたちがでした。たくさんのもたちもたちが校内を無邪気に駆け回っている姿や、目を輝かせながら作品に見入っている姿は、こちらまで嬉しくなります。彼らが成長し、いつか工芸の門をたたくて、誰かを魅了する作品を生み出してくれることを、陰ながら応援したいなあと思うのです。(高垣嘉織)

技術資料の制作

取扱説明書
マニュアル
翻訳
テクニカルイラストレーション
3D
音楽
通販

有限会社 ステーション・エム
代表取締役 細江 邦雄(M41)

本社 〒162-0828 東京都新宿区袋町25細江ビル
電話 03-6280-8455 FAX 03-6280-8456
http://www.station-m.co.jp/ e-mail: hosoe@station-m.co.jp

PLANNING CENTER
STATION.M
有限会社ステーション.エム

Instruction manual
Service Manual
Translation
Technical Illustration
3D
Music
Mail-order selling